



「学び続ける教員へのメッセージ」講演会開催のお知らせ

2026年11月3日(火・祝)13時30分から、教職キャリア高度化センター主催「学び続ける教員へのメッセージ」講演会を開催します。

昨年度に引き続き、「これからの教育(令和の日本型学校教育)と教師に求められる資質・能力」という全体テーマのもと、本年度は「『総合的な学習・探究の時間』と情報活用能力の抜本的向上」について、考えを深める機会を提供します。

次期学習指導要領において、総合的な学習・探究の時間のさらなる充実が検討されています。今回の講演会では、探究的な学習の実践、理論、政策と、様々な面からその動向に詳しい東京学芸大学大学院教育学研究科准教授 登本洋子氏をお招きし、これからの学校教育に求められる探究的な学習のあり方についてご講演いただきます。探究的な学習について、多角的に理解を深める機会になればと考えています。

詳細については、本学ホームページやチラシにてお知らせしています。申込は右の二次元バーコードからどうぞ。
みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

お申し込みはコチラ！



日 時：2026年11月3日（火・祝）13：30～15：30
場 所：京都教育大学 藤森キャンパス 共通講義棟2階

映画「小学校～それは小さな社会～」 上映会＆アフタートーク 開催のお知らせ

教育創生リージョナルセンター機構では、昨年度に引き続き、学校を舞台にした映画の上映会を2026年11月4日（水）に行います。今回取り上げるのは、ドキュメンタリー映画「小学校～それは小さな社会～」です。

この映画は、日本の小学校の特徴を知ることができる映像として、海外でも上映され話題になっているそうです。たとえば、子どもたちによる給食の配膳や掃除の場面をはじめ、さまざまな学校行事の様子も収められており、学校での集団生活を通じて子どもたちが達成感や責任感、協調性などを育てていく様子がとらえられています。

監督の山崎エマ氏は、この映画に言及した著書『それでも息子を日本の小学校に通わせたい』（新潮新書、2026年）を上梓しています。

「いま、小学校を知ること、未来の日本を考えること」という映画のキャッチコピーにも表れているように、映し出された実践を対象化して今後を展望する一つの機会にできればと考えています。

上映会のあとは、センター機構の教員によるアフタートークや感想の交流も予定しています。関心のある方はどなたでも大歓迎です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。
なお、会場準備の都合上、事前申し込みにご協力いただければ幸いです。

大学の先生方、
ぜひ学生さんに
勧めてください！



お申し込みはコチラ！



日 時：2026年11月4日（水）13：00～15：20
場 所：京都教育大学 藤森キャンパス 講堂
内 容：映画「小学校～それは小さな社会～」上映（99分）
& アフタートーク（約30～40分）

社会科教員指導力向上講座 報告

2026年7月24日（金）に、京都市教育委員会、京都市立中学校教育研究会社会科部会、本学の主催による連携講座「社会科教員指導力向上講座」を開催しました。

例年開催しているこの連携講座ですが、今年は「私たちは何を未来に残すのか～正倉院から考える社会科授業～」をテーマに実施され、本学からは社会科学科准教授の小栗優貴先生がコーディネーターを務めました。

当日は、社会科学科准教授の中村翼先生による「歴史的文化財と社会科教育－『史料を守る』ことから考える市民性の育成－」を主題とした導入に続き、宮内庁正倉院事務所保存課情報発信推進室長の片岡真純氏を迎え、「正倉院宝物から学ぶ、文化財の継承について」と題した講演が行われました。

後半のグループ別協議では、「正倉院を題材とした社会科の授業づくり」について活発な意見交換が行われました。当日は約60名の参加があり、参加者同士の交流の場としても有意義な時間となりました。



京都府研修講座 小中学校理科授業づくり講座【授業構想編】 Web+研修 報告

京都府教育委員会との連携講座として、現職の理科の教員を対象とした「小中学校理科授業づくり講座（授業構想編）～小中のつながりを意識して～」を開催しました。理学科教授の谷口和成先生を講師に迎え、事前に動画を視聴したうえで対面研修に臨む、反転型のスタイルで実施されました。

2026年8月18日（火）には本学を会場として対面研修が行われました。前半は、事前に視聴した内容をふり返り、理科の授業で大切にしたいことや学びの力を育むために必要なこと、児童・生徒への働きかけ方について、実際の授業場面を参照しながら、実践的に学ぶ場となりました。

また、後半のグループワークでは、校種や学年ごとに分かれて、前半の学びを活用した指導案づくりを行い、活発な意見交換が行われました。研修を通じて、小中学校の学びをつなぐ理科授業づくりの意義と方法について理解を深める場となったのではないのでしょうか。



京都府研修講座 中学校技術基礎講座 報告

2026年8月18日（火）に、京都府教育委員会と連携して中学校技術基礎講座「資質・能力をはぐくむ『エネルギー変換の技術』の授業づくり」を実施しました。講師に産業技術科学科教授の原田信一先生を迎え、事前に動画を視聴したうえで対面研修に臨む、反転型のスタイルで実施されました。

はじめに現状把握のためのグループワークを行い、「C エネルギー変換の技術」について、参加者が普段どのような授業を行っているか、情報交換をしました。次に、ブレインストーミングとして、解決したい問題やテーマを明確にするためのアイデアを出し合いました。それをもとに、KJ法をもちいて整理・分析し、グループ毎に結果を発表することで、受講者主体の協同的な研修となりました。



特別支援教育スキルアッププログラム 報告

教職キャリア高度化センターでは、京都府・京都市教育委員会と連携して、主に京都府内の現職教員を対象に、特別支援教育に関する講座を実施しています。

2026年6月7日（日）に、総合教育臨床センター学びサポート室との共催で、今年度第1回特別支援教育スキルアッププログラムを開催しました。学びサポート室講師の榊原久直先生を迎え、「保護者理解と保護者支援のためのカウンセリング入門～様々な相談方法の体験を通じて～」をテーマに実施しました。

今回の講座は、保護者への支援や保護者との連携をする際のコミュニケーションの方法を、ワークを通じて体験しながら学ぶ内容でした。「保護者の視点」に立つことで、支援者の願いを適切に保護者へ届けるための工夫を学べるよう、ロールプレイ演習が行われました。

当日は35名の受講があり、「カウンセリングの専門用語はできるかぎり減らされて、実践むきのケースワークをしていただいたので、意図する内容がわかりやすかったし、カウンセリングする側の気持ちの持ち方を平常に保つ術も汲み取りやすかった」、「ロールプレイと解説がものすごくよく噛み合っていて、理解が進みました」といった感想を寄せられるなど、好評のうちに終了しました。



先生を究めるWeb講義に動画を追加しました



先生を究めるWeb講義【京都教育大学公式YouTube kyokyochannel】



@先生を究めるWeb講義・チャンネル登録者数
【先生を究めるWeb講義とは】...さらに表示
kyokyoku.ac.jp/Cece、他1件のリンク

先生を究めるWeb講義
YouTubeチャンネル登録
よろしくお願いします♪



令和7年度

「学び続ける教員へのメッセージ」シンポジウム
「これからの学校教育に求められる探究学習とは」

「探究」をテーマとしたシンポジウムの記録です。
小学校教諭、京都市教育委員会指導主事、本学教員、研究者の4名が、地域教材を生かした総合的な学習、行政による支援体制、教科における探究のデザイン、次期学習指導要領の動向をそれぞれ報告し、対談・意見交換を行いました。

令和7年度 「学び続ける教員
へのメッセージ」シンポジウム



合理的配慮の視点と宿題・家庭学習

特別支援教育スキルアッププログラムの一編です。
宿題や家庭学習に困難を抱える子どもの実態を調査データから捉え直し、遊びや休息も子どもの権利であることを確認したうえで、一人一人に応じた個別的な対応と、合理的配慮の視点について考えます。

合理的配慮の視点と
宿題・家庭学習



指導主事の先生からの「温かなメッセージ」 京都府北部創生支援事業！

今回は、本事業に大変熱心に関わってくださっている、
市町教育委員会の指導主事の先生からいただいた
メッセージをご紹介します。



当教育委員会では、毎年本事業を利用させていただいている。学校では、日々の業務や子どもたちへの対応に追われながらも、放課後の職員室や校内研修の場で「子どもたちのために何ができるか」を真剣に議論している。

しかし多忙な実務をこなしながら専門的な知識を深めていくことには限界があり、「学校全体で授業改善に向けた新たな動きを作りたい」と思いつつも、どこから手をつければよいのか分からずにいる学校も多い。私自身も校内にいた頃、「何か一歩変わる手立てを見つけたい」という藁にもすがる思いで本事業への申請をしたことを覚えている。

本事業では、大学の先生が日々の授業の苦労や「変わりたい」という教員の想いに寄り添いながら、具体的かつ専門的なアドバイスをしてくださる。さらに授業参観を通して実践をリアルタイムで評価し、褒めていただくことで、自分たちの目指す方向性に確信と理論の後ろ盾を得ることができ、「一歩踏み出してみよう」という大きな後押しになっている。

これは管理職や指導主事の助言だけでは難しいことであり、**最先端の知見と客観的な視点を持つ**大学の先生だから可能なことだと感じている。

現在、指導助言を行う中でも、自身の経験だけではなく、専門的な知見や学校を俯瞰して見ることのできる新たな視野の必要性を痛感している。大学の先生からの直接的なアドバイスが各校の自信となり、先生方が安心して子どもたちのために前向きに進んでいこうと変容する姿を間近で見ながら、指導主事としても学ばせていただいている。

先生方の意欲が高まることは、子どもたちの学びへの意欲が高まることにつながり、それこそが何より価値のあることである。先生方、子どもたちを力強く支えてくださる本事業を、今後も引き続き活用させていただきたい。

所属教員

機構長

榊原 禎宏

センター長

田爪 宏二

センター次長

市田 克利
樋口 とみ子

専任教員

池辺 純次
大久保 紀一郎
白井 純子
民岡 薫
中橋 雄
西山 由美
山下 和美

兼任教員

小谷 裕実
小山 宏之
榊原 禎宏



ボランティアオフィス
連絡先 (月～水・金 10:30～13:30、
木 10:30～14:30)
TEL:075-644-8336

スポーツ指導者養成オフィス
(月～金 10:00～13:00、
14:00～15:00)
TEL:075-644-8143

事務担当
学術研究支援課
研究支援グループ
TEL:075-644-8846/8793